

基準地番号	提出先	所属分科会名	業者名	とうかつ不動産鑑定
足立(都) 5 - 15	東京都	区部第 1 1	氏名	不動産鑑定士 岡村 淑子

鑑定評価額	66,800,000 円	1 m ² 当たりの価格	506,000 円 / m ²
-------	--------------	-------------------------	----------------------------

1 基本的事項

(1)価格時点	令和 7 年 7 月 1 日	(4)鑑定評価日	令和 7 年 7 月 2 日	(6)路線価	[令和 7 年1月]	390,000 円 / m ²
(2)実地調査日	令和 7 年 6 月 20 日	(5)価格の種類	正常価格		路線価又は倍率	倍
					倍率種別	
(3)鑑定評価の条件	更地としての鑑定評価					

2 鑑定評価額の決定の理由の要旨

(1) 基 準 地	所在及び地番並びに 「住居表示」等		足立区竹の塚五丁目 1 番 2 「竹の塚 5 - 1 - 2」				地積 (㎡)	(132)	法令上の規制等			
	形状	敷地の利用の現況	周辺の土地の利用の状況		接面道路の状況	供給 処理施設 状況	主要な交通施設との 接近の状況		近商 (80,300) 防火 高度(3種) (その他)			
	1 : 2	店舗兼住宅 S 4	小規模店舗、共同住宅等 が見られる路線商業地域		南22 m 区道	水道、 ガス、 下水	竹ノ塚670 m		(100,300)			
(2) 近 隣 地 域	範囲	東 20 m、西 110 m、南 40 m、北 10 m			標準的使用	中層店舗兼共同住宅地						
	標準的画地の形状等		間口 約 8 m、奥行 約 15 m、		規模 120 ㎡程度、		形状 長方形					
	地域的特性	特記 特にない		街 2 2 m区道		交通	竹ノ塚駅東方670 m		法令 近商 (100,300) 防火 高度(3種)			
		事項		路		施設			規制 高度(3種)			
	地域要因の将来予測	竹ノ塚駅西口駅前を中心として整備事業が進行中であるが、中心地から少し離れた商業地域で地域要因に特別の変動はなく、当分の間は現状のごとく推移するものと予測する。地価は安定的に推移するものと予測する。										
(3)最有効使用の判定	中層店舗兼共同住宅地					(4)対象基準地の 個別的要因	ない					
(5)鑑定評価の手法 の適用	取引事例比較法	比準価格 519,000 円 / ㎡										
	収益還元法	収益価格 380,000 円 / ㎡										
	原価法	積算価格 / 円 / ㎡										
	開発法	開発法による価格 / 円 / ㎡										
(6)市場の特性	同一需給圏の範囲は、足立区内の近隣周辺地域を商圏とする商業地域である。需要者の中心は、同一需給圏に地縁の特性を有する不動産賃貸事業者、自己の事業に供する目的の個人・法人の事業者等で、画地規模によってはマンション分譲業者も見込まれる。西口駅前の整備事業が継続中で人流に変化も見られるが、東口の駅から多少距離のある地域は特別の影響は見られない。取引の中心となる価格帯は、規模・用途等により様々で一概に把握できない。											
(7)試算価格の調整・ 検証及び鑑定評価 額の決定の理由	竹ノ塚駅東口の駅前通り沿いに位置し、店舗兼賃貸共同住宅等を中心とする比較的用途の多様性が見られる商業地域である。よって収益性に留意する必要があるが、収益価格が市場をけん引している地域ではないと判定されるので、市場性を反映した実証的な比準価格を重視し、収益価格を比較考量し、代表標準地との検討も踏まえ、鑑定評価額を上記のとおり決定した。											
(8) 公規価 示準格 価と 格し を た	代表標準地	標準地	時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の規準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標 街路 0.0	地 街路 0.0		
	標準地番号								準 交通 0.0	域 交通 0.0		
	足立 5 - 16								化 環境 0.0	要 環境 0.0		
	公示価格		[102.8]	100	100	[100.0]	506,000	補 画地 0.0	因 行政 0.0			
	492,000 円 / ㎡	100	[100.0]	[100.0]	100	100		正 行政 0.0	その他 0.0			
(9) 指か 定ら 基の 準検 地討	指定基準地番号		時点 修正	標準化 補正	地域要 因の比 較	個別的要 因の比 較	対象基準地 の比準価格 (円 / ㎡)	内 訳	標 街路	地 街路		
		-							準 交通	域 交通		
		前年指定基準地の価格		[]	100	100	[]			化 環境	要 環境	
	円 / ㎡		100	[]	[]	100		補 画地	因 行政			
								正 行政	その他			
(10) 対年ら 象標の 基準検 準価討 地格の 等 前か	- 1 対象基準地の検討 継続 新規 前年標準価格 482,000 円 / ㎡			価 変 動 形 状 成 況 要 因 の	〔 一般的 要 因 〕	不安定な世界情勢、国内での人手不足や建築費の上昇等、不動産市場への影響を注視していく必要がある。						
	- 2 基準地が共通地点(代表標準地等と同一地点) である場合の検討					〔 地 域 要 因 〕	用途の多様性が認められる地域であり特段の地域要因の変動はない。					
	代表標準地	標準地	5 - 16				〔 個別的 要 因 〕	地域において標準的な画地であり、個別的要因に特段の変動はない。				
	標準地番号	足立										
	公示価格	492,000 円 / ㎡										
変動率	年間 +5.0 %	半年間 +2.8 %										